

3月

みんなくウィークエンド・サロン

# 研究者と話そう

■ 14時30分から15時30分

■ 展示観覧料が必要です。

※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんなく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！  
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、  
話題や内容は実に多彩。  
どんどん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

3日  
(日)

話者：河合洋尚（国立民族学博物館 機関研究員）  
話題：客家建築の世界  
会場：本館展示場内ナビひろば

17日  
(日)

話者：呉屋淳子（国立民族学博物館 機関研究員）  
話題：学校教育の中の八重山芸能  
会場：本館展示場内ナビひろば

24日  
(日)

話者：川瀬慈（国立民族学博物館 助教）  
話題：エチオピア、音楽職能の世界  
会場：本館展示場内ナビひろば

31日  
(日)

話者：太田心平（国立民族学博物館 助教）  
話題：韓国人主婦がカナダ生活で困るモノ  
——外からみた韓国物質文化  
会場：東南アジア休憩所

## 1年間みんなくは何度でも入館できる 「みんなくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんなくを楽しむための特典がいっぱいです。

- 特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引
  - ◆みんなくミュージアム・ショップとレストランの10%割引
  - ◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。
- 詳細については、財団法人千里文化財団までお問い合わせください。  
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

## 編集後記

今年1月から本誌インフォメーションのページでも紹介している「やっぱりヨーロッパ」関連のイベントが続いている。自分もかかっているが、ウィークエンド・サロン、関連映画上演会、みんなくゼミナール、ハンセミナー、いずれも冬場にもかかわらず、大変盛況なようだ。アジア、アフリカ関連の行事が多いなか、ヨーロッパファンの渴望が影響したのか、特段大がかりなイベントでもない分、うれしいわりには少し複雑な心境だ。かといって普段、ポスターやチラシに結構な宣伝費をつかっても、必ずしも入場者数に反映しないのがなやましくもある。広報誌である『月刊みんなく』も、イベントや展示には関連特集を組み、利用しやすいように必要な情報を提供するよう努めている。読者のみなさまにはどれだけ役にたっているかぜひ知りたいところだ。4月から『月刊みんなく』は編集体制がかわり、紙面でもあらたな企画の準備をすすめている。独りよがりでない、読者のニーズにこたえられる『月刊みんなく』を目指したい。

(庄司博史)

●表紙：イス 標本番号：H0267964 地域：マダガスカル共和国  
民族：ザフィマニリ

## 次号の予告

特集

## だまし、だまされ

## 月刊みんなく 2013年3月号

第37巻第3号通巻第426号 2013年3月1日発行

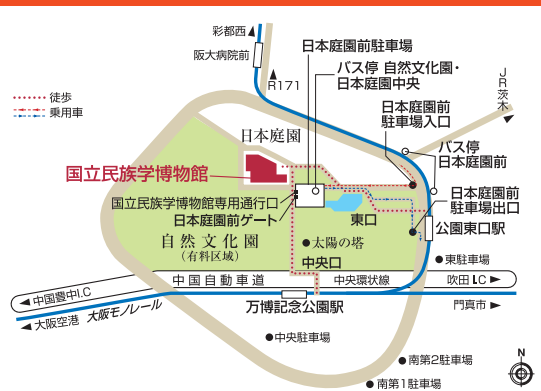
編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1  
電話 06-6876-2151

発行人 八杉桂穂  
編集委員 庄司博史（編集長） 小川さやか 樫永真佐夫  
久保正敏 菅瀬晶子 山中由里子  
編集アドバイザー 山内直樹  
デザイン 宮谷一孝  
制作・協力 財団法人千里文化財団  
印刷 日本写真印刷株式会社

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に  
お願いします。  
\*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

## 交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分（茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。）
- 自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてできます。



みんなくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

